

都市近郊の秘境、ユージン溪谷。残念ながら今年1月以降は、斜面の崩落が頻発し、玄倉林道は当面の間、通行不可のため、絶景のユージンブルーを拝むことはできない。ユージンは、小田原藩士の入植時に「有信」と付けたことも、大正時代に森林管理小屋の番人だった小宮兵太郎が「谷深くして、水勢勇まし」という意味で「湧津」と名付けたなど諸説あり、「友信」とあてられることもあるが、由来は定かでない。カタカナ表記とは、まさに秘境に相応しいではないか。

通し、溪谷まで比較的行きやすくなったが、観光地化されていないので、非日常を体験したい人にはお薦めである。筆者も行けるころまで行ってみた。

JR御殿場線谷職駅から午前7時46分発「西丹沢ヒタラーセンター」行き富士急湘南バスに乗り約20分「玄倉」停留所下車。ブルーを堪能するにはここから約6kmの林道をハイクするのだが、少し歩くと車両通行止めとなり、先はひたすら山道を歩く。道すがら、間伐され太陽光が差し込む保安林区域や土砂

流出防備保安林を眺めるのも気が和む。しばらく進むと徐々に

一般財団法人日本不動産研究所 ②①
地域資源を生かす
 ～まちづくりからインバウンドまで

神奈川県ユージン溪谷

々に法面防護している箇所が増え、至る所で落石が認められる。山側を注視しながらさらに歩みを続ける。ターゲットの手前にある「境隧道」「新青崩隧道」を通り、3つめの「石崩隧道」手前で歩行者も通行止めとなるが、隧道の名前からして危険かつ冒険心をそそられる。

小心者の筆者は、新青崩隧道に入り10分程度歩いたがその先を断念。延長300m超のトンネルは照明がなく、バックシヤは、ライトが必要で、筆者はもちろん準備して辿り着いた。しかし独りで歩



玄倉第1発電所付近のグリーン

6kmの林道をハイク

その場所は、神奈川県足柄上郡山北町玄倉川にある溪谷で、丹沢大山国定公園内にある。1947年玄倉林道が開

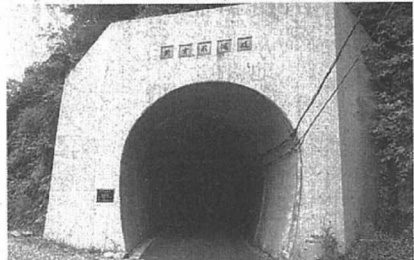
足柄上郡山北町玄倉川にある秘境

非日常体験と冒険心満たす

くには、山に入るときに心得にあるように、「安全確保、無理はしない、途中で戻る勇氣」が大事ということ(単に暗過ぎで怖い)でリトルアドベンチャーはここで終了。

聞くところによれば、玄倉タムの貯水量によって「青さ」が異なり、水が多ければコバルトブルー、少なければエメラルドグリーンに近くなるらしい。余談だが、玄倉停留所から先の車両通行止

石塚治久



④林道には落石が多く、ガードレールも曲がったままの状態に
 ⑤林道入り口には「車両進入禁止」の看板 ⑥「新青崩隧道」に入り口付近。中は真っ暗で冒険心がそそられる

安全整備と入山制限

山北町のホームページに丹沢山系の観光スポット「ユージン溪谷」が紹介されている。私見であるが、崖をセメントで防護し、舗装や駐車場整備、トンネル内のランプ設置などにはコストを掛けない。玄倉タムの自然エネルギーである水力発電事業等に必要最低限の安全整備を行い、入山制限を行う——ことを望む。

一方で、制限付きダム見学やツアーガイド付きのトレッキング、カヤックなど丹沢山系周遊の旅を謳歌する企画が雇用創出効果を生むことを期待したい。

(横浜支所、不動産鑑定士・石塚治久)